

最低責任準備金の付利率は負値 (マイナス)の見込み(平成21年1月~)

対象先	DB年金	厚生基金	適格年金	退職金	その他
内容	法令通知	財政運営	資産運用	会計基準	その他

ご参考にDB年金のお客様にも送付させていただきます。

ポイント

今般、厚生労働省宛の照会により以下の点が確認されました。

1. 厚年本体利回りが負値の場合、最低責任準備金の付利率はそのまま負値が適用される。
(平成19年度の厚年本体利回りが負値(弊社予測値 3.5%)のため、平成21年1月からの1年間の付利率が負値と見込まれる)
2. 回復計画上の付利率の設定方法については、財政運営基準の見直しを検討中。
決算代議員会頃までに、通知出状予定。
(負値の付利率を継続して使用することは適当でないため)

ご参考(最低責任準備金付利率の適用遅れ)

最低責任準備金の付利率は、厚生年金本体利回りを1年9ヶ月遅れて適用される。

	基金の利回り (注1)	厚生年金 本体利回り	最低責任準備金 付利率(年度)
平成15年度	17.61%	4.91%	1.54%
平成16年度	5.10%	2.73%	1.36%
平成17年度	21.08%	6.82%	4.36%
平成18年度	4.62%	3.10%	3.74%
平成19年度	14%~ 15%前後?	3.5% (注2) (20年3月末弊社予想値)	5.89%
平成20年度	?	?	約1.5%か?
平成21年度	?	?	マイナス?

(注1) 基金の利回りは、企業年金連合会の運用実態調査による修正総合収益率(平成15年度、16年度は将来返上基金を除いた利回り)を記載しています。

(注2) 平成19年度の厚年本体利回り 3.5%は、18年12月時点のデータに基づき弊社が独自に推測したもので±0.5%程度のブレは想定されます。

以上